

「発達保障」50周年と発達研究の展望

【趣旨】

神戸大学は、1992年に発達科学部を立ち上げ、2008年には人間発達環境学研究所を設け、先導的に人間発達研究ないし人間発達（環境）学を志向してきた。2011年は、鳥取県出身の故・糸賀一雄（1914-1968）らが開設した近江学園（滋賀県）において1961年、公式に「発達保障」の用語が使用されて「50周年」となる。「発達保障」50周年を記念して公開シンポジウムを開催し、「発達保障」の源流と今日的意義を明らかにし（第一部）、発達研究の歩みを踏まえて展望を論じ合いたい（第二部）。

【日程】

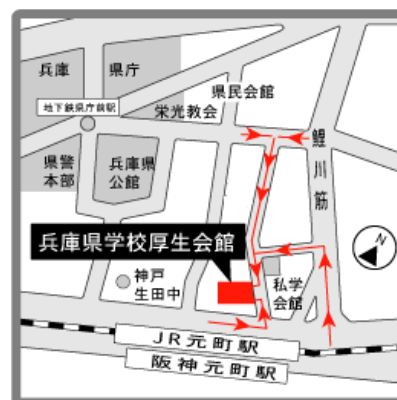
2011年11月3日（木曜日・祝日）

【場所・定員】

兵庫県学校厚生会館（JR元町駅・北へ徒歩1分）2階「大会議室」

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通4丁目7番34号 078-331-9955(代)

定員「約100名」（無料）高校生以上ならどなたでも申し込みます。



【次第】

9:30 開場・受付

10:00 開会挨拶（朴木佳緒留 [本研究科長]）

趣旨説明（渡部昭男 [本研究科教授]）

10:15 第一部～「発達保障」の源流(司会:渡部昭男)

○講演①（報告60分、質疑15分）

玉村 公二彦（奈良教育大学教授）

「発達保障」の源流～50年の史資料の収集と整理・保存

11:30 ○講演②「一次元の子どもたち」[1965年]の上映と解説

《12:15～昼休憩》

13:15 ○指定討論（30分）

河合 隆平（金沢大学人間社会研究域・学校教育系准教授）

いまなぜ「発達保障」なのか

13:45 ○総合討論（30分） 玉村・河合+参加者

《14:15～休憩》

14:30 第二部～発達研究の歩みと展望(司会:赤木和重 [本研究科准教授])

○講演（報告60分、質疑15分）

中村 隆一（立命館大学大学院応用人間科学研究科教授、人間発達研究所運営委員長）

「発達研究」の方法～園原太郎から田中昌人へ

《15:45～小休憩》

15:50 ○指定討論（30分）

木下 孝司（本研究科教授）

発達研究の展望

16:20 ○総合討論（30分） 中村・木下+参加者

16:50 閉会挨拶（中村和夫 [本研究科教授]）

【照会先】

神戸大学大学院・人間発達環境学研究所 <http://www.h.kobe-u.ac.jp/>

渡部昭男（わたなべあきお）研究室 Tel/Fax: 078-803-7726 メール・アドレス: akiowntb@port.kobe-u.ac.jp

〒657-8501 神戸市灘区鶴甲3-11 神戸大学発達科学部

【申込み】

申込用専用メール: kobehattatsuhosho@h.kobe-u.ac.jp ←左記をクリックして下さい

「氏名（ふりがな）、〒&住所、メール・アドレス、職業、（可能なら年齢）など」を送信して下さい。

*希望多数の場合には補助席等も工夫したいと思いますが、それでも収容数を超えた場合には受付を締め切らせていただきます。その際は、折り返し「お断りのご連絡」をさせていただきます（従って、「連絡がない場合は申し込みが受理された」とご理解ください）。